

【TF1】2021(令和3)年度当初の取組予定

【タスク別基本方針書】タスクフォース1：参画人口拡大

区分	内容
名称(分野)	スポーツ参画人口の拡大、スポーツを通じた多様性のある社会の実現
メンバー	くらし環境部 男女共同参画課、多文化共生課 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課、私学振興課、大学課 健康福祉部 長寿政策課、こども未来課、障害者政策課、健康増進課 教育委員会 健康体育課、義務教育課
重点対象者	乳幼児、児童・生徒(小・中・高)、 社会人(特に女性)、高齢者、障害のある人
プラットフォーム	乳幼児の保護者、学校・地域のスポーツ指導者、企業経営者、市町、県
目標 (2021年度)	＜スポーツ参画人口の拡大＞ ・成人の週1回以上のスポーツ実施率:65% ・新体力テストの記録が全国平均を上回る割合 100% ＜スポーツを通じた多様性のある社会の実現＞ ・静岡県障害者スポーツ大会出場者数 3,500人(2021年度) ・成人女性の週1回以上のスポーツ実施率:65%
目的・ 取組方針	・県民の誰もが、各々の年代で関心・適性に応じて、日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。 ・生涯にわたるスポーツライフの礎となる運動習慣、体力向上を図るため、学校や地域における子供のスポーツ機会を充実する。 ・誰もがスポーツに関心を持ち、親しむことができるよう、社会全体で積極的に環境を整備し、障害者スポーツの振興、女性のスポーツ参画機会の拡大を図る。
令和2年度の取組 (主な取組)	○乳幼児期における運動習慣の確立 ・乳幼児期における運動習慣の確立に向けた、幼稚園やショッピングセンター等での親子運動あそび体験イベントの実施(3回) ・新しい親子運動プログラムを考案、動画及びプログラムシートを作成 ○児童期における運動習慣の確立と体力の向上 ・小学生の体力向上に向けた実技指導者派遣や、体の動かし方の指導講師の派遣等 ○青少年期における運動習慣の確立と体力の向上 ・生徒のニーズに応じて充実した部活動が実施できるよう中・高・特別支援学校へ外部指導者(スポーツエキスパート・部活動指導員)を派遣 ○成人期に地域社会や職場でスポーツに親しむためのきっかけづくり ・誰でも気軽に参加できるレクリエーション・スポーツの振興に向けて、県民スポーツ・レクリエーション祭を実施 ・企業や事業所の健康経営を推進するため具体的な目標を宣言する「ふじのくに健康づくり推進事業所」の拡大 ○高齢期の健康長寿の為にスポーツ推進 ・健康長寿の3要素(食生活・運動・社会参加)を普及するための「ふじ33プログラム」の実施 ・スポーツや文化活動を通じた健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを推進するための、すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催(参加選手2,630人R3.2月末時点)、全国健康福祉祭(ねんりんピック)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により1年延期 ○障害のある人のスポーツ参画推進 ・障害者スポーツの振興に向けたスポーツ用具貸与、指導員派遣、スポーツ教室の開催、指導員養成等 ・静岡県ブレードランニングクリニックの開催 ・わかふじ大会開催(4競技454人) ○女性のスポーツ参画の促進 ・女性をターゲットとしたリモートによるヨガ教室開催 ・隙時間を活用し手軽に行えるエクササイズ「筋肉ふじのくに体操」をSNSで発信

課題	課題解決に向けた取組
<p>＜短期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じたスポーツ継続に向けた乳幼児期の運動(体を動かす)習慣づくり 競技経験のない教員等の負担などが課題となり専門的指導が可能な指導者が不足 仕事や子育て等でスポーツ機会が少ない世代に対するスポーツの習慣づくり 健康長寿に向けた高齢者スポーツの振興 東京2020パラリンピックを契機とした障害者スポーツへの理解促進 20代、30代の女性のスポーツ実施率を向上させるための環境の整備 <p>＜中長期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動機会が少ない子が、スポーツに取り組みやすい態勢づくり 少子化の影響等により、学校の教員だけでは運営が困難となる中・高校生の学校部活動への対応 障害者スポーツを応援する県民意識の醸成と、障害者スポーツの裾野拡大 	<p>＜短期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ショッピングセンターや地域の児童館、子育て支援施設等での親子運動遊び普及 部活指導員配置、外部指導者派遣、人材バンク活用等による部活動指導充実、顧問教員の負担軽減 事業所等の職場における健康づくりの取組支援、レクリエーション指導者の派遣 すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催やねんりんピックへの選手団派遣、高齢者の健康づくり 県障害者スポーツ大会の開催、パラサイクリング県大会、パラサイクリング練習・体験会及びパラサイクリングサポーター養成講習会の開催 パラスポーツの体験を通じ、パラスポーツの魅力を広く企業・県民に周知・普及する「静岡県パラスポーツ運動会」の開催 スポーツ教室やイベントでの託児等、女性が参加しやすい環境づくり <p>＜中長期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> (激しい身体活動を伴わず)誰でも楽しむことができるニュースポーツ等の普及 学校部活動を補完する地域型部活動の普及 障害者スポーツを支援・指導できる指導者育成、障害特性に応じたスポーツ指導員の養成・確保

＜令和3年度の達成目標＞

- ・ショッピングセンターや、地域の児童館、子育て支援施設等での親子運動遊び(6件)
- ・高校部活動等への部活動指導員配置(43件)、スポーツエキスパート派遣(97件)や人材バンクの活用による学校スポーツ支援(登録指導者数1,000人)
- ・企業等へのレクリエーション指導者派遣(3件)
- ・すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催及びねんりんピックへの静岡県選手団派遣(10月30日～11月2日 岐阜県)
- ・パラサイクリング県大会(年1回)、パラサイクリング練習会・体験会(年3回)、パラサイクリングサポーター養成講習会(年2回)開催
- ・市町等が実施するスポーツ教室や、スポーツイベント等での託児等実施への支援(3件)
- ・学校部活動を補完する地域部活動の実践研究

【タスク別基本方針書】タスクフォース2:「人材」と「場」

区分	内容
名称(分野)	「人材」と「場」の充実(スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実)
メンバー	スポーツ・文化観光部 大学課、私学振興課、スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課、健康増進課 交通基盤部 管理局政策監、公園緑地課 教育委員会 財務課、健康体育課
重点対象者	スポーツをする機会が少ない、希望する競技を実施できない県民 スポーツ施設設置者
プラットフォーム	各市町(公共スポーツ施設設置者)、民間スポーツ施設設置者、 各市町体育協会、総合型地域スポーツクラブ運営者、スポーツ推進委員、 静岡県スポーツ協会(スポーツ人材バンク管理者)
目標:2021年度 (現状値)	県立水泳場及び富士水泳場の利用者数 年間31万人以上(2019年度:年間28万人) 県武道館の利用者数 年間31万人以上(2019年度:年間25万人)
目的・ 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 県民が主体的にスポーツに参画するために、地域においてスポーツ活動を支える指導者や専門スタッフ、審判員等、スポーツに関わる人材の育成を図るとともに、地域の既存施設の有効活用等により、安全にスポーツ活動を行うことができる空間をできる限り多く提供する。 スポーツ指導者、スポーツ施設の充実を図るとともに、地域スポーツクラブの質的充実を図るために中間支援組織による相談体制や、登録、認証等の制度の整備を促進する。 まちづくり・地域活性化を推進する「地域スポーツコミッション」の活動を支援する。
2年度の取組 (主な取組)	<p>○スポーツに携わる多様な人材の育成と活躍の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町スポーツ主管課長、市町スポーツ担当者への研修を実施(新型コロナウイルスの影響により中止) 総合型地域スポーツクラブ代表者への研修を実施(1回) 県スポーツ推進委員連絡協議会への助成 県内幼稚園等への指導者派遣(3回)、アピタ・イオンでの親子遊び普及イベント実施(新型コロナウイルスの影響により中止) スポーツ少年団交流大会の開催(2回)、日独スポーツ少年団交流の実施(新型コロナウイルスの影響により中止) ふじ33プログラムの推進による健康寿命の延伸 スポーツ人材バンクの活用 トップアスリート等を中学校部活動へ派遣 <p>○地域スポーツクラブの担い手となる地域スポーツクラブの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域スポーツセンター業務の実施 総合型地域スポーツクラブ会員による交流会の実施(1回) 各スポーツ産業振興協議会との連携 <p>○多くの人がスポーツに親しむことができる場の提供・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設、各学校の施設管理運営費による適正管理 指定管理者によるスポーツ施設での教室等の充実 県営都市公園の適正管理 施設の安全点検結果に基づく改修工事の実施 小笠山総合運動公園の芝生広場3面にラグビーゴールを整備し、同時に5面使用できる環境を実現 安全な走行空間の提供を目的とした、県管理道の矢羽根型路面表示延長(275m/2020年度)

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> 競技の人口からトップアスリートまで各段階で効果的な指導ができる人材の確保 民間スポーツ施設の情報不足による不明確な地域のスポーツ機会の提供状況 民間スポーツ施設を含むスポーツ指導者の不明確な充足状況 コロナ禍で停滞したスポーツ機会の充実 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団における段階・個性に応じた指導 公共・民間スポーツ施設の配置、活動状況を関係団体と情報共有 スポーツ人材バンクの登録状況を調査 地域活性化に成功している総合型地域スポーツクラブや市町への訪問調査 総合型地域スポーツクラブの活動状況や地域連携状況を調査 総合型地域スポーツクラブの活動支援
<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブでの有資格者による、年齢、性別を問わずスポーツ活動を継続して行うための指導 市町や民間団体がカバーできていない地域への公的支援方策の検討 学校を対象としているスポーツ人材バンクの地域スポーツへの活用 合理的な施設活用への情報共有 	<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの機能強化 人材バンクの充実に向けた連携強化 老朽化施設の対応や学校再編などを含めた地域として効率的な施設活用ポリシーの作成



<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニア世代選手の指導者に対する研修の実施 学校体育施設を含む公共スポーツ施設の情報と、民間スポーツ施設の調査結果を基にした民間施設の配置状況を関係団体と情報共有 総合型地域スポーツクラブの育成・支援を関係団体と連携 中間支援組織による総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の整備を支援 施設と指導者の情報を関係団体と共有 優れたスポーツクラブの経営方法について関係団体と情報を共有 <p><中長期的な達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町や民間団体がカバーできていない地域への公的支援・モデル事業の展開 市町広域連携、官民連携といったネットワーク形成による地域のスポーツ環境支援体制の構築

【タスク別基本方針書】タスクフォース3：地域活性化

区分	内容
名称(分野)	地域活性化(スポーツを通じた地域の活性化)
メンバー	知事直轄組織：地域外交課、危機管理部：危機情報課、経営管理部：地域振興課、スポーツ・文化観光部：スポーツ政策課・スポーツ振興課・OP推進課・観光政策課・観光振興課・空港振興課、経済産業部：商工振興課、教育委員会：健康体育課
重点対象者	県民全般、スポーツ関連団体、観光関連団体
プラットフォーム	市町、観光協会、地域DMO、競技団体、西部スポーツ産業振興協議会、サイクルスポーツ聖地づくり地域実践団体、TSJ等
目標(2021年度)	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催を契機にスポーツを活用した多様な交流や産業の振興を推進(スポーツ・レクリエーション交流人口 3,500万人)
目的・取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 県内のスポーツ資源を活用した交流促進を通じて、地域活性化を図るため、県内の状況調査、先進事例の県内事業者等への周知、県内のスポーツに関する施設や宿泊等の情報の国内外への発信を実施 県内スポーツ産業の振興のため、産官学が協働して新たなニーズの開拓や産業化を図る。
令和2年度取組(主要事業)	<p>○世界的スポーツイベントを契機とした地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック(オリパラ)関連事業 おもてなし：都市ボランティア募集、研修、シティキャスト通信の発行(月1回)、イベント等での活動・検証 サイクリングWebスタンプラリー、日本代表内定選手激励会、伊豆半島・東部地域20市町の住民参画による機運醸成 など ラグビー聖地化推進事業 エコバグビー場5面化によるスポーツ合宿誘致、ラグビー周年イベント ほか サイクルスポーツ県づくり事業 サイクルスポーツの県づくりによるサイクルスポーツの聖地創造(聖地創造会議1回、幹事会2回、部会各2回、市町連絡会3回) サイクルスポーツ県づくり協働事業費 地域の実情に応じたサイクル関連事業を実施(県内4地域) <p>○スポーツを通じた多様な交流推進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流推進事業 大規模スポーツイベントの開催(富士山女子駅伝 無観客開催) 静岡県市町対抗駅伝等への支援、ビーチ・マリンスポーツに係るHP立ち上げ サイクルスポーツ県づくり事業(再掲) サイクルツーリズムの推進、台北サイクルオンライン出展 スポーツの力で県民元気事業 県内プロスポーツチームの広報担当者会議開催によるネットワーク構築 県民スポーツ普及啓発(SAS動画再生回数16,257回、テレビ放映24回、ラジオ放映66回) <p>○スポーツ産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品企画定音促進事業費補助金 国内外からの旅行需要を取り込み、来訪者の滞在期間の長期化や観光消費額の増大を図るための取組を支援(3件)(富士山トックキングダノ商品造成事業ほか) スポーツ産業振興協議会による活動 理事会、運営会議等を通じた運営への参画 ほか

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラ大会成功に向けた機運醸成 スポーツ合宿の受入態勢、誘致の推進 オリパラ、RWCのレガシー 地域のスポーツ資源の活用 スポーツイベントへのボランティア参加促進 サイクルを通じた国際交流の促進 スポーツ関連産業の創出 スポーツツーリズム、アウトドアツーリズムの推進 スポーツツーリズムへのスポーツ観戦の活用 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラレガシーの創出 RWCレガシーの創出 スポーツ合宿、大会誘致 スポーツツーリズムの推進 スポーツ産業の裾野拡大 本県が優位性を発揮できるスポーツへの関与 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> 選手激励会等による機運醸成 テストイベント、全日本ロード選手権等を活用した観戦勧奨 県内合宿地の調査、展示会出展支援 合宿誘致の体勢、スポーツ資源(練習・宿泊施設等)を調査 市町等と協働した展示会でのセールス オリパラ都市ボランティアに対し、その他のスポーツイベントへのボランティア参加促進 イタリア フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州行政団受入及び台湾との交流 IT企業等と連携したアスリートの強化活動支援を通じた関連産業の振興 東中西スポーツ産業振興協議会の交流・情報交換 県モデルルートを活用したサイクルツーリズムの推進及び誘客促進活動の支援 スポーツ観戦を目的とするツーリズムの可能性を検討 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラ会場を活用した新たな自転車大会誘致 地域密着型自転車チームの育成 アザレアスポーツクラブの活動支援 女子セブンス大会等の誘致 市町と連携したスポーツ合宿・大会誘致 ニーズに合わせたサイクルツーリズムの推進 サイクルツーリズムへのe-BIKE活用 スポーツ産業振興協議会の取組発信 他県と差別化を図ることができるスポーツ種目の検討、普及、活用策の検討 新たなプロスポーツチームの誘致

<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 合宿誘致の推進を通じた、スポーツに関する静岡ブランドのセールス方法確立(展示会出展1回) サイクリングを通じた国際交流の推進 競技団体、部活動等に対するスポーツにおけるIT活用事例の周知 <p><中長期的な達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ・レクリエーション交流人口 3,500万人 静岡県自転車活用推進計画に基づくサイクルツーリズムの推進等を通じた地域活性化 オリパラレガシーとしての新たな自転車競技大会の開催 RWCレガシーとしての女子セブンス大会等の開催 オリパラ・RWCの事前合宿地を中心に、様々なスポーツの合宿地として定着することによるレガシー創出

【タスク別基本方針】タスクフォース4：競技力向上

区分	内容
名称(分野)	競技力向上(競技力の向上) グリーン&フェア(グリーンでフェアなスポーツの推進)
メンバー	スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課 教育委員会 健康体育課
重点対象者	各競技団体(陸上、サッカー、テニス、バレー、バスケット、卓球、野球、水泳、山岳、体操、ハンドボール、自転車、ラグビー、柔道、相撲、ソフトテニス、弓道、レスリング、セーリング、ボート、バドミントン、ソフトボール、スキー、クレール射撃、ボクシング、フェンシング、スケート、剣道、ホッケー、ウェイトリフティング、ライフル射撃、馬術、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、カヌー、なぎなた、アイスホッケー、ゴルフ、トライアスロン)に所属するスポーツ選手(トップアスリート)、ジュニア選手、スポーツ指導者等
プラットフォーム	(公財)静岡県スポーツ協会競技力向上委員会、各競技団体、学校・地域のスポーツ指導者、県、民間企業(アスリート雇川企業)
目標(2021年度)	・国民体育大会における総合成績8位以内
目的・取組方針	・オリンピック・パラリンピックをはじめとする各種の国際大会や、国民体育大会等の全国大会において、優れた成績を上げ、県民に夢と希望と感動を与えるアスリートを増加させる。 ・ジュニア期からトップレベルまでの体系的な人材育成と、指導者の資質の向上等の環境整備により、競技力の向上を図る。 ・スポーツ団体における組織運営の透明性を確保する。 ・競技団体・アスリート等に対するフェアプレイ精神の涵養、ドーピング防止活動の充実等により健全なスポーツ社会の実現を図る。
令和2年度取組(主要事業)	○ジュニア世代の育成 ・スマートフォン・アプリを活用したゲーム分析(静岡産業大学・スプライザ等) ・ジュニア選手育成を目的としたトレセン方式、強化拠点方式、指定校・クラブ方式での競技力向上策への支援(39競技) ・ジュニアのトップ選手育成のための県内中学・高校の運動部活動の支援 ・中学生を対象とするトップアスリートによるクリニック(3回) ・ジュニアアスリートの選考会(適性診断)、競技体験(チャレンジスポーツ教室)、アスリートとの交流(ビクトリークリニック) ・団体及び団体ブロック予選を勝ち抜くための強化活動や器具整備等への支援(41競技) ○トップアスリートの育成 ・トップアスリートの強化活動の支援(9競技30人) ・東京2020オリ・パラ指定強化選手への支援(オリンピック21人、パラリンピック15人) ・団体クラスのアスリートの県内定着を目指した企業とアスリートのマッチング支援 ・団体出場選手や指導者、アスリート雇用企業等からのヒアリング ○指導者の資質向上 ・資格取得や中央競技団体主催の講習会等への参加促進によるスポーツ指導者のスキルアップ支援 ・競技団体の強化選手等に対するフィジカルチェックやメンタルトレーニングなどのスポーツ医・科学活用 ・団体結果に基づく競技団体別の分析調査 ・準高地トレーニング実証実験(裾野市スポーツツーリズム推進協議会・静岡大学・順天堂大学等) ・外部より世界クラスの優秀指導者を招聘し、競技団体の指導体制強化を支援

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的・効率的な活動を指導するための運動部活動顧問の質の向上 ・東京2020オリンピック・パラリンピックへの多くの県関係アスリート出場 ・競技団体別分析であげられた団体ごとの課題(活動場所確保等)への対応 ・選手の強化活動や指導を補完するIT技術やスポーツ医・科学の導入 ・質の高い指導ができる指導者の確保、高齢化している指導者の世代交替 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技力底上げに向けた裾野拡大に資するジュニア世代の発掘・育成 ・より高い競技力を求める部活動・生徒の対応 ・各種全国大会等での活躍が期待できるトップアスリートの継続的な確保 ・アスリートに生涯を通じた活動の場として選ばれるような競技環境の整備と、社会機運の醸成(企業のアスリートサポート、わがまちスポーツ等) ・団体8位を補完する競技力の向上の目標(値)の検討 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各競技団体や中・高体連と連携した、効果的・効率的指導のための指導者の資質向上 ○東京2020オリンピック・パラリンピックの県指定強化選手への支援 ○スポーツ指導へのIT技術や、医・科学の導入実験(※以下は中長期的視点で3年度以降も継続実施) ○(公財)静岡県スポーツ協会と連携したジュニア育成・強化事業の充実(競技者の裾野拡大)、育成年代の指導者の資質向上 ○部活動生徒に対するトップアスリート派遣によるクリニック ○全国大会上位入賞を目指し、中・高体連等と連携して参加チームや個人を支援 ○競技団体等が行う強化活動等への継続的支援・検証 <ul style="list-style-type: none"> ・競技特性に応じた方式でのジュニア育成・強化 ・国際試合等を通じたジュニア選手の強化 ・トップアスリートを雇川する県内企業への支援 ・国体本大会やブロック大会に向けた強化 ・本県競技力の柱となるトップアスリートへの支援 ○指導者のスキルアップのための資格取得支援や、講師を招聘しての研修 ○世界クラスの指導者を招聘し指導者資質向上と指導体制強化を図る競技団体への支援 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町等とも連携した競技団体別の拠点施設の確保・整備検討



<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会における天皇杯8位(競技力の充実)(◎大会延期、◎17位、◎19位) <p>三重国体(2021年)は(予選を要さない)三重県を除く東海3県でブロックの予選となり、本国体出場競技数、それに伴う本国体入賞競技数が増える可能性が高いため、三重国体での入賞(8位)を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートを雇用する県内企業への支援(新規10件)と雇用された選手が活動しやすい環境づくりの支援、関係企業等との良好な関係の構築及び次年度に向けた、本県において競技活動の継続を希望するアスリートについての競技団体と連携した情報収集 <p><中長期的な達成目標(年度)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピック(2020年)に本県関係者85名以上の出場 ・アスリート雇用支援事業で雇用した選手の本県選手、本県指導者としての定着
--